

# たかくらだより

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数, 理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

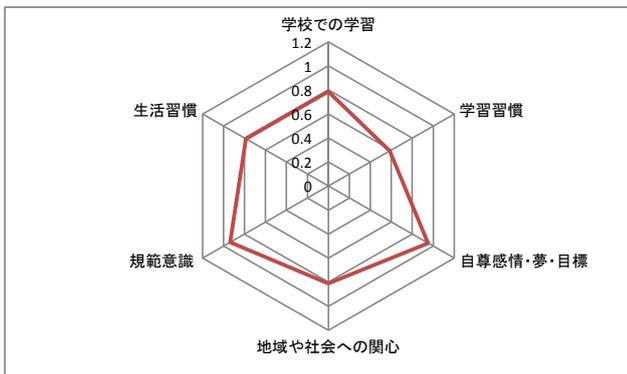
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	書くことについての問題に課題がある。日頃から、書く事を習慣化できるような取組を継続する必要がある。	下回っている
国語B	文章の読み方、書き方を中心とした活用する力に課題がある。聞かれていることはどんなことか、必要なことは何かを判断する力が必要である。	下回っている
算数A	数量関係や数と図形についての問題に課題がある。基礎的・基本的な学習問題の定着を図る必要がある。	下回っている
算数B	応用問題に対しても、粘り強く取り組むことができるようになった。数量関係や図形についての問題に課題が見られる。	下回っている
理科	記述問題に対しても苦手意識をもたず、粘り強く取り組むことができていた。B区分(生命・地球)についての問題に課題が見られる。	下回っている

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段(月曜日～金曜日)、1日あたり60分以上勉強している児童の割合は昨年度に比べて減少している。学校の宿題にはきちんと取り組んでいるが、自分で計画的に学習を行う週間は定着できていない。</li> <li>・学校のきまりを守っているという児童の割合はほぼ全国平均に達しており、規範意識は高い。</li> <li>・自分にはよいところがあると答えた児童の割合は減少しており、依然として自尊感情が低い傾向にある。</li> <li>・将来の夢や希望をもっている児童の割合は、全国平均より高い。それぞれの夢を実現させるために具体的な目標設定を行い、行動に結び付けさせる必要がある。</li> </ul>

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・ 毎週水曜日の計算タイム、木曜日の読書タイム(読み聞かせ)、金曜日の音読タイムを全校一斉に実施する。
- ・ 授業の中に、「話し合う活動」を効果的に取り入れるなどの授業改善に取り組む。
- ・ 基礎的・基本的な学習の定着や、個に応じた指導の充実のために、放課後の時間(週1～2回)を利用して、定期的な補充学習の時間を設ける。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・ 学校通信などで学習時間、学習内容、学習方法について、児童及び保護者の方への啓発を行う。
- ・ 「家庭学習チャレンジハンドブック」を活用した自主学習を推進するとともに、自学ノートを作成し、自宅での復習などに取り組ませる。
- ・ 全国学力・学習状況調査の結果の概要や、課題や取組等を学校だより、学校HPで周知する。